

平成27年4月15日号(No.150)

「 教 師 の 仕 事 」

伊丹市立総合教育センター

所長 後藤 猛虎

4月も中旬となりました。先生方には、「どんな1年になるかな?」「どんな学級経営をしようか?」「こんな授業をしてみよう」など、いろいろと考えているところではないでしょうか。最初が肝心です。しっかりビジョンをもち、新学期のスタートをきってほしいものです。

さて、エマーソンは、自分の夢や目標を実現していく過程を次のような言葉で表しています。



思いは花であり
言葉は芽であり
行動はその後実をつける
ラルフ・ワルド・エマーソン (思想家・米国)

まず第一に、自分のなりたいものや実現したいことの思いをもつこと。この思いは強く、大きいものほどよい。イメージをもつことがまずは大事だということです。

第二に、その思いを言葉にすること。言葉はものを生み出すときの力となり、言葉にすることで、人は思いをしっかりとした形にすることができる。そして、それを紙に書くことで、自分の日々の生活に強い目標ができる。

第三に、行動すること。行動すれば、必ず何らかの結果が出る。その結果を見て次の行動を考え、さらに実践する。こうして遂には思いが実現し、実を結ぶことになるということです。

さて、エマーソンが言うように、多くの教師は、子どもたちにその時々目標をもたせ、紙に書かせ教室にはって実行させます。しかし、絵に描いた餅になり、目標倒れになって実を結ばないことがよくあります。それは、どうも行動にあるようです。

まず、どんな行動をとれば、より目標や願いが実現できるかを考え工夫することです。そして、行動したことをしっかりチェックし、次の行動に生かすことです。

これは、子どもに目標をもたせるときに限ったことではありません。教師自身の目標や学校全体の目標を達成するときでも同じだと思います。目標を実現するには、行動を工夫し、チェックをしっかりとすることが大事なのです。



全国学力・学習状況調査事前のポイント

4月21日（火）実施の全国学力・学習状況調査が目前に迫ってきました。国立教育政策研究所が発表した「平成26年度全国学力・学習状況調査の結果」では、**学校における指導と学力との関係**に、以下の取組状況の特徴があると発表されました。

【指導方法・学習規律】

- 学習規律の維持徹底
- ノート指導やテストの振り返りを行う
- 課題解決型学習を行う
- 本やインターネットを使った調べ学習の活用



【国語科、算数・数学科の指導方法】

- 発展的な学習の指導を行う
- 国語科の指導として、話す・聞く・書く・読む習慣を付けさせる
- 算数・数学科の指導として、実生活に関連した授業を行う

【言語活動】

- 指導のねらいを明確にした言語活動の充実
- 考えや思考を深める発問や指導
- 発言や活動の時間を確保した授業
- 話し合い活動の充実
- 資料を使った発表の指導
- 調べたことや考えを文章に書かせる指導

平成27年度
全国学力・学習状況調査に向けて
これだけは！

- 最後まであきらめず取り組ませる
- 調査時間を意識させる
- 見直しを徹底させる

【総合的な学習の時間】

- 総合的な学習の時間における探求活動

【家庭学習】

- 調べたり書いたりする宿題

年度初めにあたり、より充実した学習活動を展開できるよう、調査結果等を参考にし、授業改善に取り組んでいきましょう。

スポーツテスト事前のポイント

体力は、人間の活動の源であり、健康の維持増進のほか、意欲や気力といった精神面の充実に大きく関わっており、生きる力を支える上で重要な要素です。

体力を向上させるためには、常日頃から、児童生徒の体力の状況を的確に把握し、運動に親しみ、望ましい生活習慣を確立することが必要です。

しかし、例年のスポーツテストの結果を見ると、種目に対する経験不足等が要因となり、子どもたちの体力が正確に結果に反映されていないことが考えられます。

そこで、以下の各種目のポイントを事前練習の中で実施し、子どもたちのさらなる体力の向上を図りましょう。

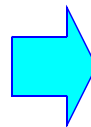
左の種目の力をつけるために効果的な遊びや動きの例

反復横跳び

ポイント！

【重心を低くし、重心の移動を減らす】

- ひざを十分に曲げ、腰の位置を低くする



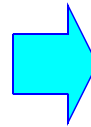
- なわとび
- ラダーを使った運動

20mシャトルラン(小学校)・持久走(中学校)

ポイント！

【ペースを一定に保つ】

- 自分に合ったペースで走る



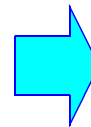
- けいどろ
- ジョギング

50m走

ポイント！

【スタートの練習(前傾姿勢で一步目を踏み出す)】

- 前傾の姿勢でスタートをする



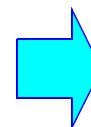
- 鬼ごっこ
- ミニハードル

立ち幅跳び

ポイント！

【腕の使い方】

- 腕を後方へしっかりと引く→前へ振り出す



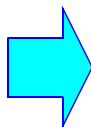
- ケンケンパ
- 馬跳び

ソフトボール投げ(小学校)・ハンドボール投げ(中学校)

ポイント！

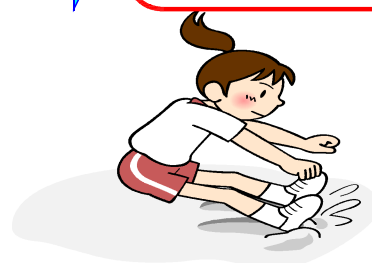
【上半身のねじりとボールを離す位置】

- 肘を肩よりも高く上げ、耳の後ろにボールを持つ



- ブーメラン
- キャッチボール

※様々な動きを体験することがとても重要です。



平成27年第1回伊丹市議会における質問

平成27年第1回市議会での質問から「伊丹市のキャリア教育の取組の現状と今後の方向性」についての質問趣旨及び伊丹市教育委員会の答弁を抜粋、要約して紹介します。

【質問趣旨】

これからの時代を生きる子どもたちにたくましく生き抜く力を身につけさせるためにキャリア教育は重要であると考えているが、伊丹市におけるキャリア教育の取組と今後の方向性はどうか。



【答弁内容抜粋】

（教育長答弁）（前略）本市におけるキャリア教育の充実に向けた取組としましては、1つには、これまでのキャリア教育は、中学校や高等学校等において、高校進学や大学進学、就職といった進路指導の一環として取り組んできました。そのようなことから小学校においては、中学校や高等学校のような進路指導がありませんから、実践するための先生方の意識が、「なぜ、キャリア教育をしなければならないのか」という問いから始めなければなりませんでした。

しかし、来年度から小学校で採用される教科書は、キャリア教育に関する内容が大きく充実されています。一例をあげますと、5・6年生の算数では、「算数から仕事へ」という単元において、子どもに人気のあるパティシエや医師等のメッセージを掲載し、算数と仕事との繋がりを気づかせたり、5・6年生の家庭科では、「プロに聞く」として、家庭科と関連する職業の方からのメッセージやアドバイスが紹介されたりしています。このように教科書にキャリア教育の内容が取り上げられたことで、小学校の先生が持っていた高いハードルは大きく下がると思います。

2つ目には、平成27年度から「キャリア教育推進事業」として中学校ブロック1地域をモデル地域に指定し、校区内の幼稚園・小学校・中学校が、キャリア教育プログラムの全体計画の作成に向け、実行と検証を行ってまいります。

3つ目は、小学校6年生から中学校3年生が教材として活用できる「キャリア学習ノート」の作成に入ります。

キャリア教育で一番大切なことは、次のステップに向かって、勇気を持って一步を踏み出せる子どもを育てることです。目の前にいる子どもの良さをどんどん伸ばし、弱みを支援して解消していくことです。

キャリア教育を充実させ、学ぶことに意欲を持てる子どもを育ててまいりたいと考えています。

キャリア教育とは

- 一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達（※）を促す教育。

※キャリア発達＝社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程。

（中央教育審議会答申

「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」より抜粋）